

## 平成 30年度 事業計画

今年度は相楽園指定管理、国営あいな里山公園植物管理業務を始め、5事業を柱に様々な事業に取り組んでいくこととなります。

また災害発生時には神戸市の出動要請の下、災害復旧に関して積極的に協力します。今後も運営や業務遂行にさらなる責任と期待、そして信頼や満足を得ていくための計画と行動が必要となります。そのためには会員各位の積極的な参加と協力が欠かせません。今年度も会員の参画意識を高めるため、各委員会活動を充実させ、会員相互の情報の共有を図り、技術・技能向上のみならず、造園業界を取り巻く環境や要請をしっかりとキャッチし、幅広く夢のある造園業界となるための事業活動を行います。

- 1、神戸市の公園・緑花政策に対し意見やアイデアを提案し進んで協力する  
具体的には造園を通じた市民・地元一体型のモデル事業の立案を行う
- 2、災害など不測の事態に対処するための災害出動体制を充実させ、災害復旧に協力する  
また、防災協定の見直しを行う
- 3、神戸市の災害対策事業に対しての協力として、安全に関する防災用具などを寄贈する
- 4、指定管理者市立相楽園、市立須磨離宮公園、国営あいな里山公園の運営及び 管理をパートナーである(公財)神戸市公園緑化協会と共に協力し、充実させ、市民満足を向上させる。特に今年度より相楽園が随意契約となり多方面から期待が寄せられる。それに応え得る指定管理者となる。
- 5、事故防止、安全意識の高揚を図るため神戸市と共同で安全パトロールを年2回(管理作業、整備工事 各1回)実施する
- 6、管理作業における品質向上を目的とした緑のパトロールの実施に向け協議検討を行う
- 7、神戸市と今後の造園・緑花技術についての意見交換会や技能講習会を開催する
- 8、造園業界を取り巻く環境変化に対応するための情報収集を行い、各委員会の目的に応じた講習会、勉強会などを開催する。また庭園管理・公園運営管理に関する視察研修会を実施する
- 9、造園業界の認知度向上、また次代を担う世代へ緑の素晴らしさをPRするために前年度同様、神戸市立科学技術高等学校のインターン生受入れに積極的に取り組む。
- 10、協力会の活動や造園業界のニュースなどホームページ等を利用し会員や関係者に情報を提供する。
- 11、六甲山整備戦略事業に造園業界として取り組む。
- 12、その他